

レイヤーマップは深谷のオンライン百科事典「フカペディア」<http://fukapedia.com>に投稿された記事をもとに作成しています。

1 路地裏で空中廊下を発見!!



菊泉で有名な滝澤酒造(田所町)の裏の路地で変わった陸橋を発見! と思いきやなんとこの橋は酒蔵と貯蔵庫を結んでいる空中廊下なのでした。予約すれば蔵見学ができるそうです。



「らーめん缶」とか「アキバ系おでん」とか。他にもやきとり、豚汁、肉じゃがの缶詰など。若い人にも人気です。たし夏は休み。



3 深谷には富士山があります。



富士浅間神社(本住町)にあるこの岩の塊は江戸時代に盛んだった富士講の人たちが富士山に見立てて信仰の対象としたのだとか。

2 アキバ系の自販機

ハン屋さんの富士屋(仲町)さんで、変わった自販機を発見!

4 深谷ならではのプロ包丁発見!!

深谷はブロッコリーの出荷量が全国2位。なかでも岡部地区はその一大産地です。収穫するにはあの太い茎を包丁で切りますが、なんと専用のプロ包丁を釜屋金物店(仲町)で発見! 腕に負担がかからないように最適な形状・角度になっています。さすが農業王国深谷。



「鬼おろし」。鋸歯状の三角形の突起で大根を粗めにおろすことが出来る昔からの道具です。

5 稲荷町で見つけた「鬼おろし」とは

亀井籠店(稲荷町)に入ってみると所狭しと竹製品があつて、そこで見つけた竹製の「鬼おろし」。



6 女だとももって甘くみたらいかんぜよ!

「ご用だ! ご用だ!」女性が強盗を取り押さえています。手にしているのは「さすまた」(刺股)という道具です。イザというときにこれが一本あれば安心。お求めは、堺屋金物店(本住町)で。



7 【稲荷町の庚申塔(こうしんとう)】

これは、江戸時代に盛んだった庚申信仰に基づいて建てられた石塔です。庚申信仰とは、六〇日に一度の庚申の日の夜に寝入ってしまうと、人間の体内にいる三尸(さんし)という虫が、その人の悪事を天帝に報告していくので命が縮まるとされることから、講(こう)という集まりで眠らずにいる風習です。



8 【からくり時計】

時計塔のガラスケースの中には普段ふっかちゃんが見えています。定刻になると「青い目の人形」と「市松人形」を持った渋沢栄一が現れ、時刻を知らせるしかけになっています。

